

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容④】「校内研修でのクラウド環境の活用」

取組内容

校内研修の際に、各自が大切だと感じたキーワードをジャムボード(図1)の付箋機能を利用し、メモを取ることにした。また、研修のまとめとしてスライド(図2)にジャムボードをスクリーンショットしたものを貼り付け、学んだことを文章で書くという形式を実施した。

工夫点

StuDX Style等で紹介されている先進校の授業スタイルを校内研修に取り入れた。受け身が多かった研修が積極的に学ぶ研修へと改善された。また、ファイルの白紙共有・協働編集・他者参照を教師自身が体験することで、それぞれの授業への導入につながる取組であった。また、StuDX Styleにある各教科の実践事例をそれぞれの教科で学び、学んだことを他教科と共有する場面があり、個別最適な学びと協働的な学びがみられた。



図1 キーワードを書いたジャムボード

ひとつのジャムボードを全員で共有し、いつでも他者参照ができる。

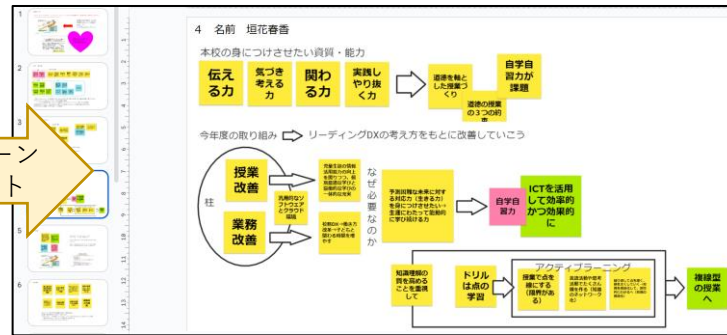


図2 研修のまとめを書いたスライド

今までの代表者数名の意見だけではなく、全員の学びを知ることができる。自分の学びを深めることにつながった。



校内研修のようす

職員同士の学び合いが生まれていた。

取組後の変容

校内研修を重ねていくごとに、先生方のタブレットを活用した授業実践意欲が高まった。また、汎用ソフトの操作ができるようになると、苦手意識があった先生が「授業で使ってみよう」と得意な先生に聞くことが増えてきた。教科を超えた先生方同士での学び合いが生まれた。